

研究基本要領2015

研究主題

—地域とともに学校を創造する学校事務の追究—

子どもも大人もいきいきと活躍する
楽しい学校づくりを目指します

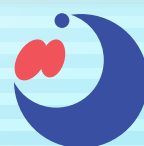


研究基本要領は、研究主題に沿ってこれからどのような活動をしていくのか、具体的な方策等を示した「活動宣言」です。新事研では、これまでの取組と成果を検証し、新たな可能性を求めて取り組むネクストステージ「研究基本要領2015」へ歩み出します。

「地域・学校間連携の促進」「人財育成・キャリア形成」「経営力強化」を3つの戦略として、時代の変化と要請を真摯に受け止め、未来に向けて、よりよい教育の推進のために私たちのできることをまとめました。

新潟県学校事務研究協議会（以下、新事研）は、地域とともに、一緒に考え、語り合い、創造し、子どもも大人（地域・家庭・教職員等）もいきいきと活躍する楽しい学校づくりを目指していきます。

新潟県学校事務研究協議会



研究主題 【地域とともに学校を創造する学校事務の追究】

現在、全国でコミュニティ・スクールや小中一貫教育の取組などによる「地域とともにある学校づくり」が推進されています。

新潟県では、「新潟県教育振興基本計画」（平成26年4月）の中で、学校・家庭・地域及び関係機関との連携を深めながら目標達成に向けた活動を推進することが提言されており、学校教育を単体の学校だけで捉えるのではなく、複数の学校間、地域と連携・協働しながら、学校や地域を取り巻く課題を改善し、よりよい教育の推進に向け、継続的に取り組むことが重要です。

新事研は、これらを踏まえ、研究主題を継続して「地域とともに学校を創造する学校事務の追究」と設定し、地域とともに創る学校における学校事務を推進し、子どもたち、そして地域の未来を切り拓く豊かな学びの実現に向けて、取り組んでいきます。

「地域とともに創る学校」の姿

新事研では、「地域とともに創る学校」を「地域の人とともに、学校や地域の教育課題や目標を共有し、支援しあい、子どもたちを育てていく場」とであると捉えています。

地域（中学校区）の中の「地域コミュニティの拠点」として、学校と地域との信頼関係の構築を図り、それぞれの学校の特色ある教育や地域資源を生かしながら、子どもたちの豊かな学びの実現を通し、地域全体でいきいきとした教育活動を展開していきます。

どのような子どもたちを育てたいか、家庭や地域の人々などの関係者と一緒に熟議（熟慮と議論）を重ね、目標を共有し、協働して取り組みます。それらの取組を通して、市町村の教育施策に基づいた「地域学校グランドデザイン」を学校運営協議会等の組織で策定し、地域全体で子どもたちを育てていく「地域学校経営」が展開されていくと考えます。

「地域とともに創る学校の学校事務」とは

地域とともに創る学校では、学校職員だけでなく、学校に関わる様々な人たちの想いを共有し、それぞれが持つ専門性を発揮しながら、目標に向かって協働し、組織として力を高める学校づくりを進めていく「チーム学校」として活動していきます。

その中で学校事務は、「地域とともに学校を創造する役割を主体的に担う機能」となり、学校職員、学校と地域、行政などの関係機関をつなぎ、連絡・調整を図りながら協働体制を構築し、特色ある教育活動の展開に向けて学校経営を推進する原動力となります。

その上で、共同実施は地域学校経営を推進するための「地域学校事務室」へと役割を拡充します。地域の学校全体がよりよい学校教育を展開できるように、「地域学校事務室のマネジメント」を推進し、学校事務や教育行政の課題を解決しながら、地域全体の学校力の向上を追究していきます。

地域学校事務室のマネジメントに向けて

＜地域学校事務室のマネジメントとは＞

ー地域学校事務室が、様々な人との関わりや協働で学校づくりを進めていくための
基点として存在し、学校や地域の力を最大限発揮できるように活動していくことー

市町村の教育施策に基づいた視点を持ち、地域学校グランドデザインの策定から関わり、教育施策の実現に向けた「地域教育課程」の円滑な推進のため、学校事務機能の強化、地域学校経営に必要な経営資源の効果的な運用、組織の強化を図り、地域全体を見渡した教育条件整備を進めていきます。

「研究基本要領2011」から「研究基本要領2015」へ

研究主題

地域とともに学校を創造する学校事務の追究

私たちはこれまでの理念を継続しつつ
ネクストステージへ
取り組んでいきます

地域とともに創る学校

学校が地域コミュニティの **核**（地域のよりどころ）となる

学校と地域の人々との **信頼関係の構築** で魅力あふれる学校へ

教育目標を共有し 協働して ともに地域の課題の改善をする

そのためには

様々な人が **専門性を発揮** しながら協働し、組織として力を発揮する「**チーム学校**」での**マネジメント**が重要です

実現したいチーム学校の姿

目標が達成できる・協働する
組織が活性化されている
お互いが学び合える場である

学校事務職員は

学校経営担当職員として、専門性を発揮し、チーム学校のマネジメントを推進する

- 「気づきから始まる改善」に取り組む「実践研究」を行う。
- 一人の学校事務職員や一つの学校だけでなく、「地域とともに創る」ことを意識し、地域全体の学校間連携や共同実施、支部の活動を基盤として取り組む。

地域全体の学校力向上に向けた **3つの戦略** と取組

地域・学校間連携の促進

人財育成・キャリア形成

経営力強化



重点取組事項の設定

- 学校財務
- 地域教育課程

プラス1キーワード

平成27・28年度
防災・危機管理
平成29・30年度
施設・設備管理

※人を組織の財（たから）と捉え、「人財」を使っています

地域とともに主体的に学校づくりを

— 学校事務職員は学校組織マネジメントを成立させる



地域との
連携を強化する

↓
「地域・学校間連携
の促進」

学校組織マネ
展開する高度な
身につく

↓
「人財育成・キ

学校を取り巻く人
たちとビジョンを
共有し、協働して
いく仕組みを作る

共同実施組織を
地域学校事務室
に拡充していく

実践と研究を通
して学校事務の
専門職として成
長する

学校評価の
集約・分析
等に関わる

学校事務職員のキャリア形成イメージ —「常に学び続ける」

Step 1

新採用・主事

基礎力のある学校事務職員

- 使命感をもつ
- 基礎基本を身につける
＜期待される力＞
- コミュニケーション能力
- 目指す学校事務職員像の探求
- 教育への理解力
- 信頼される力

Step 2

4年目以上主事

調整力のある学校事務職員

- 様々な人との関係をつくる
- 様々な仕事に挑戦する
＜期待される力＞
- 業務の横のつながりを意識し判断
する力
- 一歩踏み出す行動力

を進める学校事務職員を目指します

させるための重要な学校経営担当職員である—

(標準的職務通知より)

マネジメントを
な経営能力を
ける

キャリア形成」

学校の自主性
自律性を高める
↓
「経営力強化」



学校の裁量権拡
大に向けた取組
を進める

の企画・
新・広報
る

評価をもとに課
題を見つけ改善
するための計画
づくりに取り組む

財務と教育課程
への関わりを通
して特色ある活
動を実現していく

姿勢」を大切に、経験年数に応じ、様々な力を積み上げます—

Step3

主任・主査

企画力のある学校事務職員

- 学校教育ビジョンの実現に取り組む
- 学校内外の連携・協働を促進する
〈期待される力〉
- 戦略的プランニング力
- 変化を捉えて対応する力
- 責任ある仕事へ挑戦する意欲
・課題発見力・問題解決力

Step4

事務主幹・総括事務主幹

統括力のある学校事務職員

- 地域の教育課題へ取り組む
- 視野・大局的見地をもつ
〈期待される力〉
- 広域な教育機関や各団体との連携
・調整力
- 政策形成力・提言力
- 人財育成力・組織を活性化する力

地域・学校間連携の促進

学校間や地域との連携を促進する活動に積極的に参画します。地域を知り、その地域の特色を生かした学校づくりを推進します。

- 地域教育課程策定、及び評価へ積極的な関わり
- 地域教育活動活性化に向けた条件整備
 - ▶組織・体制づくり、規定の整備、資料の保管、広報活動等
- 地域学校経営における事務局としての役割へ
 - ▶共同実施から地域学校事務室への転換（さらなる機能の拡充）

人財育成・キャリア形成

学校事務職員が「人財」として成長し、地域とともに学校を創る確かな担い手として、期待され求められる役割を果たします。そのために人財育成・キャリア形成の「見える化」を進めます。

- 自らが描く、目指す姿に向けたキャリア形成における、継続的な能力の開発
 - ▶強い使命感と学ぶ姿勢を基調とした、積極的な実践、研究活動の推進及び主体的な研修への参加
- 学校組織、学校事務組織における、互いに学び、成長し合うよりよい環境づくりの推進
 - ▶個々の能力や技能、資格等の把握・共有及び OJT（職場内研修）等を生かした力の育成
 - ▶リーダーを中心とした機能的な組織の編成による、個々の力を最大限に生かした効率的、効果的な学校経営の推進、活性化
- 関係機関と連携した研修の充実
 - ▶総括事務主幹や関係組織との連携による、全体を見通した研修体系の確立、プログラム化に向けた取組の推進

経営力強化

「チーム学校」の実現に向けて、学校事務職員が経営に参画し、地域と学校が一体となった新たな組織づくりに取り組み、組織力の強化、活性化を図ります。

- 企画委員会への参画と、標準的職務通知をベースにした校務分掌組織の見直しに向けた提案
- 事務長・事務主任発令及び共同実施組織を生かした学校経営の推進による、地域の学校全体の組織力強化
- 市町村の教育ビジョンに基づいた共同実施経営の推進、市町村教育委員会や他組織との連携
 - ▶共同実施経営から地域学校事務室経営への転換
- 課題解決、改善に向けた学校評価への積極的な関わり
 - ▶評価項目の設定、評価、分析、情報公開等

重点取組事項の設定

3つの戦略の積極的な推進に向けて、重点的に取り組む実践項目を設定します。

「学校財務」と「地域教育課程」への取組とともに2年ごとに「プラス1キーワード」を設定し、全県で取り組むことで、研修機会の設定や情報の双方向の関わりが生まれ、新事研が取組を支援していきます。

実践による研究活動で地域学校経営を支えるマネジメントを展開する学校事務組織、学校事務職員に成長していきます。

学校財務

地域教育課程

プラス1キーワードへの取組

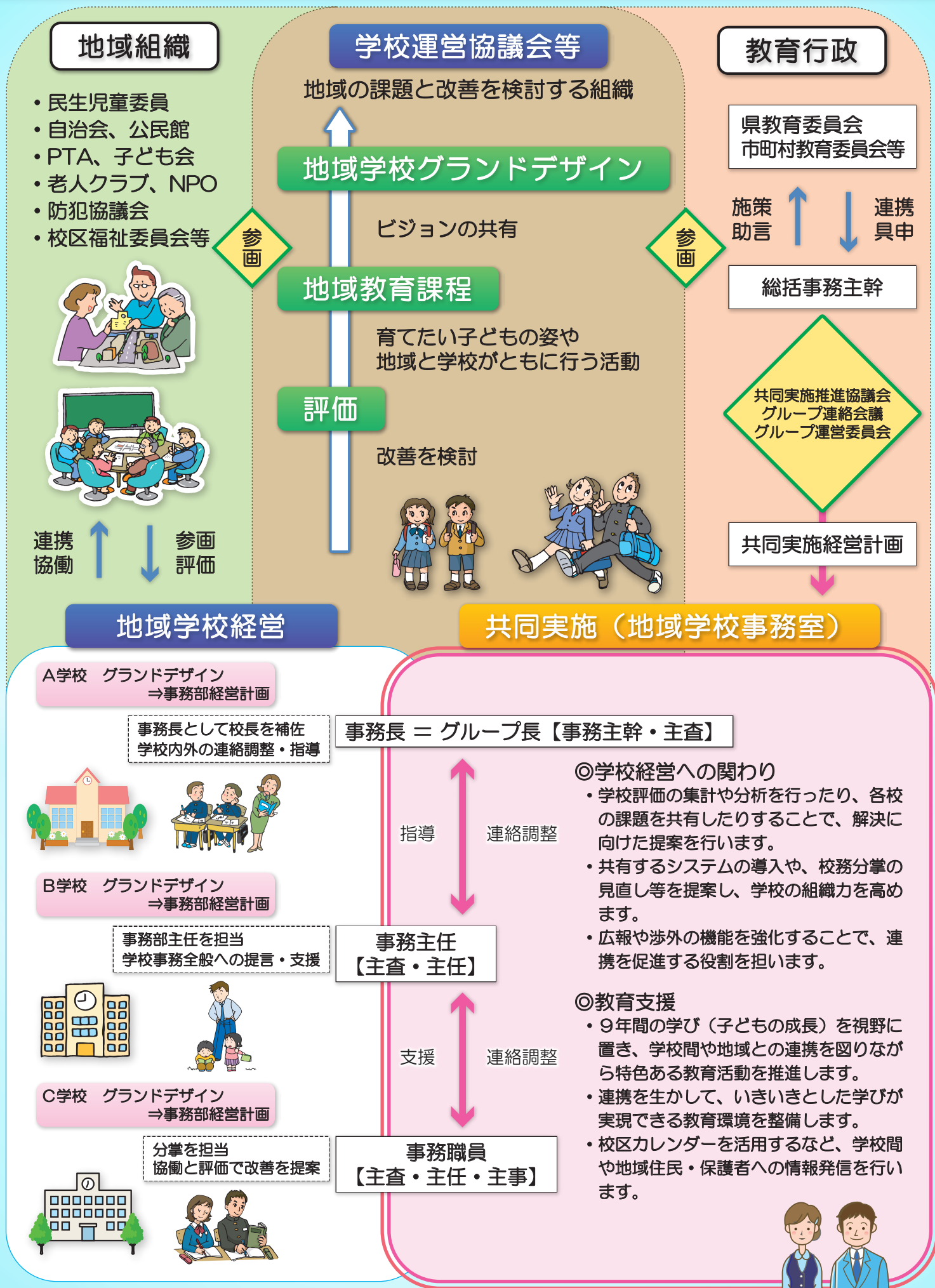
<プラス1キーワード>

- 27・28年度：「防災・危機管理」
- 29・30年度：「施設・設備管理」

3つの戦略は独立したのではなくそれぞれに関連し、相互に高め合うものです。取組の切り口として重点取組事項を設定しました。それぞれの実情に合わせてできるところから取り組んでいただき、それぞれのプラス1の設定へと進んでください。

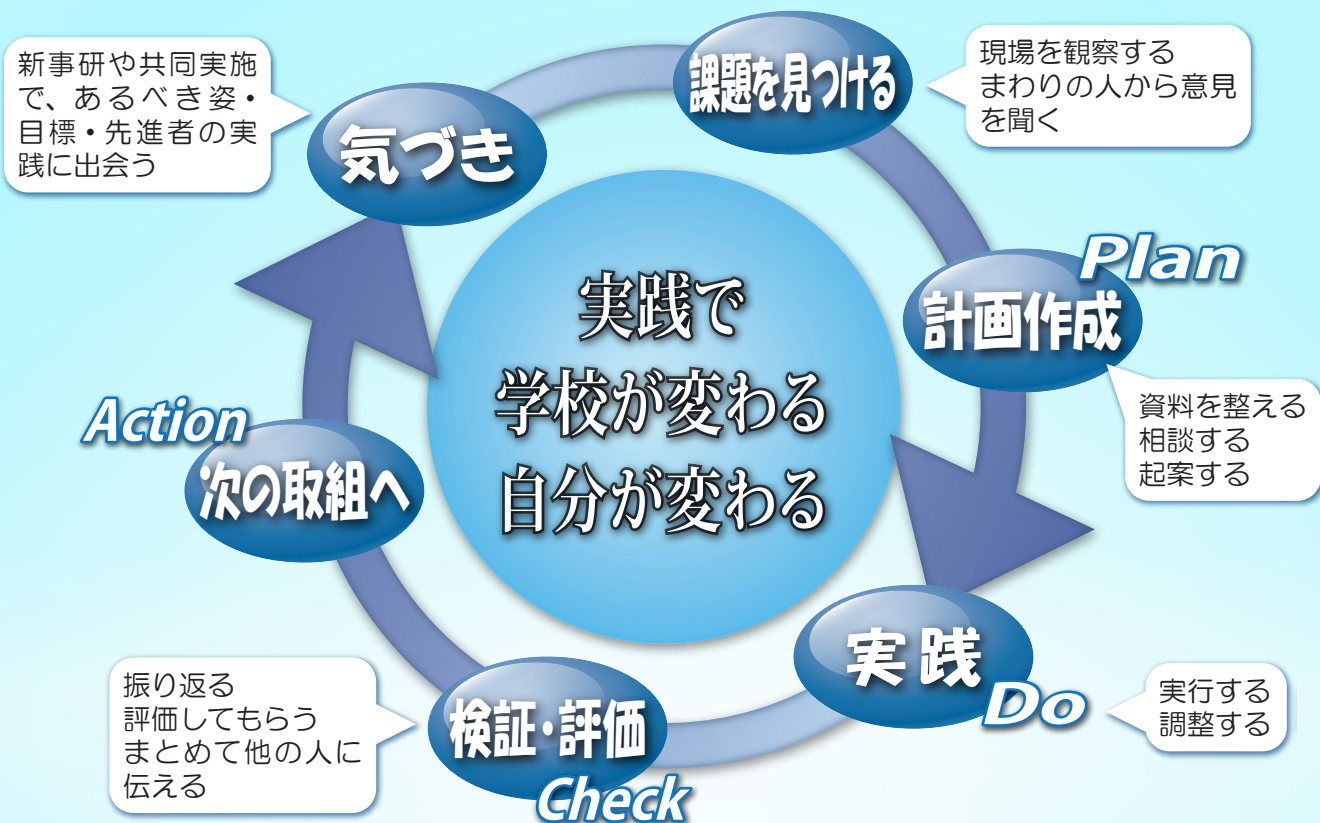
「地域とともに創る学校」の学校事務組織(イメージ)

地域 = 中学校区を単位



私たちは学校力を高めるための研究実践を進めていきます

気づきから始まる日常業務の改善そのものが「研究」です。



日常の中において、このようなPDCAサイクルを心がけることでマネジメント力が高まっていきます。

マネジメントを展開できる経営能力を身につけるために

マネジメントレシピ

- 「何のためにするのか」を忘れない
- ビジョンや目標を共有する
- 心や行動のやりといでお互いの信頼を高める
- 協働や振り返りのプロセス(過程)を意識する
- 人・もの・お金 情報・時間などマネジメントの要素をつかむ

あなたが考えた「マネジメントを進めるために大切なこと」